

2022年7月・盆休みのおでかけ指数

～第7波で回復傾向にブレーキ

2022年8月23日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

本稿では、当会が提供している人流モニタリングプラットフォーム「おでかけウォッチャー」(<https://odekake-watcher.info/>) の掲載データ¹の一部を集約した「おでかけ指数²」により、2022年7月および8月の盆休み期間における全国の人流動向を分析する。なお、DATASALAD 上では、来訪地側（着地側）と発地側の2種類の「おでかけ指数」を公表しているが、本稿では主に来訪地側を取り上げる。



1. 全国の7月のおでかけ指数：感染拡大第7波で回復にブレーキ

2022年7月における全国のおでかけ指数は54.0となった（図1）。前年比で+27.1%と8カ月連続で前年を上回ったものの6月よりもプラス幅は縮小し、また2019年同月比では▲42.5%と6月よりもマイナス幅が拡大した（図2）。6月までは新型コロナウイルス感染が小康状態にあったことから人流回復が進んできたが、第7波によってその傾向にブレーキがかかった。

図1 おでかけ指数の月次推移（全国）

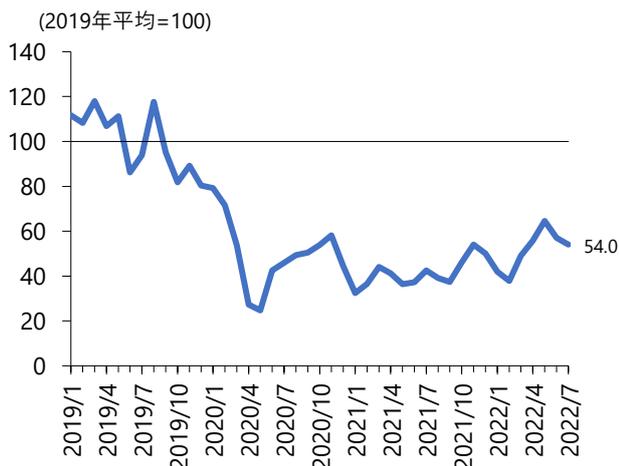
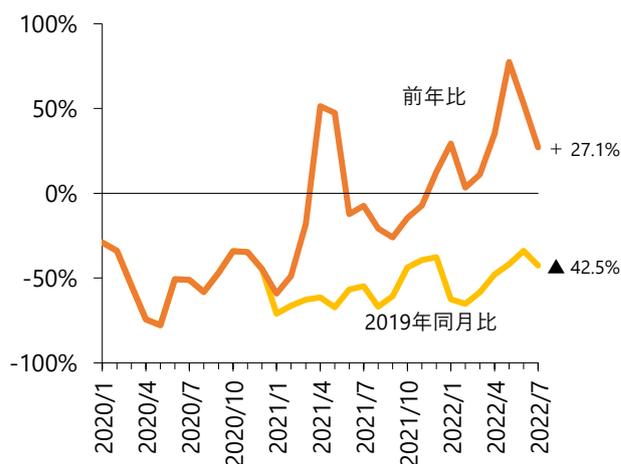


図2 おでかけ指数前年比・2019年同月比（全国）



注) 2022年8月14日までのデータによる推計値 資料) 九経調 DATASALAD

¹ 「おでかけウォッチャー」で提供している位置情報ビッグデータは、株式会社プログウォッチャーより提供を受けたものであり、承諾を得たユーザー（月間2,500万MAU）のスマートフォンから取得したものである。

² おでかけ指数は、新型コロナウイルス感染拡大前である2019年の日平均を100とした指数である。

2. 地域ブロック別のおでかけ指数：全国的に回復傾向が反転

2022年7月のおでかけ指数を12の地域ブロック別にみると、前月までと同様に全地域で前年比はプラス、2019年同月比はマイナスだが（表1、表2）、同時に前月と比べて全地域で前年比のプラス幅が縮小、2019年同月比のマイナス幅が拡大しており、全国的に回復が減速している。2019年同月比のマイナス幅拡大は甲信越や北関東、四国、北陸で顕著であり、これまで大都市圏からの人流回復が進んでいた地域で反動が大きく表れている。それでも、指数の水準は東日本の地方圏において引き続き高い傾向がある。沖縄は前年比+111.0%と前年反動もあって指数の伸びが大きく、7カ月ぶりに全国を上回った。

表1 地域ブロック別おでかけ指数

地域	2022年 7月	前年比	2019年 同月比
全国	54.0	+ 27.1%	▲ 42.5%
北海道	85.9	+ 34.2%	▲ 26.8%
東北	66.0	+ 16.4%	▲ 33.4%
北関東	57.0	+ 15.6%	▲ 35.6%
南関東	46.2	+ 43.5%	▲ 51.2%
甲信越	67.0	+ 17.3%	▲ 31.0%
東海	53.8	+ 20.4%	▲ 40.9%
北陸	58.0	+ 17.4%	▲ 39.2%
近畿	52.2	+ 26.1%	▲ 43.1%
中国	57.1	+ 14.7%	▲ 36.5%
四国	59.5	+ 11.0%	▲ 33.4%
九州	58.5	+ 15.8%	▲ 34.8%
沖縄	63.3	+ 111.0%	▲ 41.2%

注) 2022年8月14日までのデータによる推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表2 地域ブロック別おでかけ指数 指数・2019年同月比によるソート

< 指数順 >

順位	地域	2022年 7月	前年比	2019年 同月比
1	北海道	85.9	+ 34.2%	▲ 26.8%
2	甲信越	67.0	+ 17.3%	▲ 31.0%
3	東北	66.0	+ 16.4%	▲ 33.4%
4	沖縄	63.3	+ 111.0%	▲ 41.2%
5	四国	59.5	+ 11.0%	▲ 33.4%
6	九州	58.5	+ 15.8%	▲ 34.8%
7	北陸	58.0	+ 17.4%	▲ 39.2%
8	中国	57.1	+ 14.7%	▲ 36.5%
9	北関東	57.0	+ 15.6%	▲ 35.6%
10	東海	53.8	+ 20.4%	▲ 40.9%
11	近畿	52.2	+ 26.1%	▲ 43.1%
12	南関東	46.2	+ 43.5%	▲ 51.2%

< 2019年同月比順 >

順位	地域	2022年 7月	前年比	2019年 同月比
1	北海道	85.9	+ 34.2%	▲ 26.8%
2	甲信越	67.0	+ 17.3%	▲ 31.0%
3	東北	66.0	+ 16.4%	▲ 33.4%
4	四国	59.5	+ 11.0%	▲ 33.4%
5	九州	58.5	+ 15.8%	▲ 34.8%
6	北関東	57.0	+ 15.6%	▲ 35.6%
7	中国	57.1	+ 14.7%	▲ 36.5%
8	北陸	58.0	+ 17.4%	▲ 39.2%
9	東海	53.8	+ 20.4%	▲ 40.9%
10	沖縄	63.3	+ 111.0%	▲ 41.2%
11	近畿	52.2	+ 26.1%	▲ 43.1%
12	南関東	46.2	+ 43.5%	▲ 51.2%

注) 2022年8月14日までのデータによる推計値 資料) 九経調 DATASALAD

3. 都道府県別のおでかけ指数：全都道府県で悪化

2022年7月のおでかけ指数を47都道府県別にみると、全都道府県で前年比はプラス、2019年同月比はマイナスとなった(表3、表4)。前月までと同様、指数の上位には北海道(85.9)、青森県(74.0)、秋田県(71.3)など東日本の地方圏が並ぶ。指数の下位には東京都(45.2)、埼玉県(47.4)、千葉県(47.9)、神奈川県(48.5)、大阪府(49.3)など三大都市およびその周辺の都府県が並ぶ。前月に40位だった沖縄県(63.3)は11位に上昇した。2019年同月比でみて、6月は長野県が▲2.9%とマイナス1桁台まで回復がみられたが、7月は全都道府県でマイナス幅が拡大に転じ、最高でも高知県の▲24.1%にとどまった。

表3 都道府県別おでかけ指数

地域	2022年7月	前年比	2019年同月比	地域	2022年7月	前年比	2019年同月比
全国	54.0	+ 27.1%	▲ 42.5%	三重県	50.5	+ 7.7%	▲ 41.9%
北海道	85.9	+ 34.2%	▲ 26.8%	滋賀県	55.2	+ 8.9%	▲ 38.6%
青森県	74.0	+ 19.2%	▲ 29.1%	京都府	54.3	+ 31.5%	▲ 37.0%
岩手県	68.6	+ 16.7%	▲ 30.9%	大阪府	49.3	+ 38.1%	▲ 47.6%
宮城県	56.3	+ 15.4%	▲ 41.0%	兵庫県	52.1	+ 17.6%	▲ 44.1%
秋田県	71.3	+ 9.7%	▲ 30.8%	奈良県	58.6	+ 16.7%	▲ 31.0%
山形県	68.7	+ 11.2%	▲ 32.4%	和歌山県	61.2	+ 2.2%	▲ 35.9%
福島県	67.7	+ 23.3%	▲ 30.1%	鳥取県	58.1	+ 16.0%	▲ 38.8%
茨城県	57.8	+ 14.5%	▲ 34.2%	島根県	52.9	+ 1.1%	▲ 40.1%
栃木県	54.3	+ 13.6%	▲ 38.4%	岡山県	55.4	+ 16.1%	▲ 39.7%
群馬県	58.5	+ 18.7%	▲ 34.6%	広島県	57.7	+ 20.2%	▲ 35.5%
埼玉県	47.4	+ 21.9%	▲ 48.2%	山口県	61.1	+ 9.5%	▲ 28.8%
千葉県	47.9	+ 27.7%	▲ 47.1%	徳島県	58.4	+ 12.3%	▲ 34.2%
東京都	45.2	+ 52.7%	▲ 53.0%	香川県	56.6	+ 19.9%	▲ 36.0%
神奈川県	48.5	+ 33.6%	▲ 47.6%	愛媛県	56.7	+ 2.7%	▲ 37.1%
新潟県	65.9	+ 12.8%	▲ 32.0%	高知県	68.3	+ 13.3%	▲ 24.1%
富山県	58.4	+ 13.2%	▲ 37.7%	福岡県	59.0	+ 27.7%	▲ 37.2%
石川県	54.8	+ 21.2%	▲ 41.9%	佐賀県	52.8	+ 5.4%	▲ 37.0%
福井県	63.2	+ 15.5%	▲ 36.0%	長崎県	56.7	+ 11.2%	▲ 34.0%
山梨県	70.0	+ 25.0%	▲ 29.6%	熊本県	61.9	+ 5.5%	▲ 28.8%
長野県	66.3	+ 17.3%	▲ 31.0%	大分県	58.3	+ 7.2%	▲ 32.1%
岐阜県	59.6	+ 9.6%	▲ 30.9%	宮崎県	60.7	+ 3.9%	▲ 28.3%
静岡県	53.4	+ 18.7%	▲ 41.3%	鹿児島県	57.0	+ 10.5%	▲ 35.4%
愛知県	53.5	+ 28.9%	▲ 42.8%	沖縄県	63.3	+ 111.0%	▲ 41.2%

注) 2022年8月14日までのデータによる推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表4 都道府県別おでかけ指数 指数・2019年同月比によるソート

< 指数順 >

順位	地域	2022年7月	前年比	2019年同月比
1	北海道	85.9	+ 34.2%	▲ 26.8%
2	青森県	74.0	+ 19.2%	▲ 29.1%
3	秋田県	71.3	+ 9.7%	▲ 30.8%
4	山梨県	70.0	+ 25.0%	▲ 29.6%
5	山形県	68.7	+ 11.2%	▲ 32.4%
6	岩手県	68.6	+ 16.7%	▲ 30.9%
7	高知県	68.3	+ 13.3%	▲ 24.1%
8	福島県	67.7	+ 23.3%	▲ 30.1%
9	長野県	66.3	+ 17.3%	▲ 31.0%
10	新潟県	65.9	+ 12.8%	▲ 32.0%
11	沖縄県	63.3	+ 111.0%	▲ 41.2%
12	福井県	63.2	+ 15.5%	▲ 36.0%
13	熊本県	61.9	+ 5.5%	▲ 28.8%
14	和歌山県	61.2	+ 2.2%	▲ 35.9%
15	山口県	61.1	+ 9.5%	▲ 28.8%
16	宮崎県	60.7	+ 3.9%	▲ 28.3%
17	岐阜県	59.6	+ 9.6%	▲ 30.9%
18	福岡県	59.0	+ 27.7%	▲ 37.2%
19	奈良県	58.6	+ 16.7%	▲ 31.0%
20	群馬県	58.5	+ 18.7%	▲ 34.6%
21	富山県	58.4	+ 13.2%	▲ 37.7%
	徳島県	58.4	+ 12.3%	▲ 34.2%
23	大分県	58.3	+ 7.2%	▲ 32.1%
24	鳥取県	58.1	+ 16.0%	▲ 38.8%
25	茨城県	57.8	+ 14.5%	▲ 34.2%
26	広島県	57.7	+ 20.2%	▲ 35.5%
27	鹿児島県	57.0	+ 10.5%	▲ 35.4%
28	愛媛県	56.7	+ 2.7%	▲ 37.1%
	長崎県	56.7	+ 11.2%	▲ 34.0%
30	香川県	56.6	+ 19.9%	▲ 36.0%
31	宮城県	56.3	+ 15.4%	▲ 41.0%
32	岡山県	55.4	+ 16.1%	▲ 39.7%
33	滋賀県	55.2	+ 8.9%	▲ 38.6%
34	石川県	54.8	+ 21.2%	▲ 41.9%
35	栃木県	54.3	+ 13.6%	▲ 38.4%
	京都府	54.3	+ 31.5%	▲ 37.0%
37	愛知県	53.5	+ 28.9%	▲ 42.8%
38	静岡県	53.4	+ 18.7%	▲ 41.3%
39	島根県	52.9	+ 1.1%	▲ 40.1%
40	佐賀県	52.8	+ 5.4%	▲ 37.0%
41	兵庫県	52.1	+ 17.6%	▲ 44.1%
42	三重県	50.5	+ 7.7%	▲ 41.9%
43	大阪府	49.3	+ 38.1%	▲ 47.6%
44	神奈川県	48.5	+ 33.6%	▲ 47.6%
45	千葉県	47.9	+ 27.7%	▲ 47.1%
46	埼玉県	47.4	+ 21.9%	▲ 48.2%
47	東京都	45.2	+ 52.7%	▲ 53.0%

< 2019年同月比順 >

順位	地域	2022年7月	前年比	2019年同月比
1	高知県	68.3	+ 13.3%	▲ 24.1%
2	北海道	85.9	+ 34.2%	▲ 26.8%
3	宮崎県	60.7	+ 3.9%	▲ 28.3%
4	熊本県	61.9	+ 5.5%	▲ 28.8%
5	山口県	61.1	+ 9.5%	▲ 28.8%
6	青森県	74.0	+ 19.2%	▲ 29.1%
7	山梨県	70.0	+ 25.0%	▲ 29.6%
8	福島県	67.7	+ 23.3%	▲ 30.1%
9	秋田県	71.3	+ 9.7%	▲ 30.8%
10	岩手県	68.6	+ 16.7%	▲ 30.9%
11	岐阜県	59.6	+ 9.6%	▲ 30.9%
12	奈良県	58.6	+ 16.7%	▲ 31.0%
13	長野県	66.3	+ 17.3%	▲ 31.0%
14	新潟県	65.9	+ 12.8%	▲ 32.0%
15	大分県	58.3	+ 7.2%	▲ 32.1%
16	山形県	68.7	+ 11.2%	▲ 32.4%
17	長崎県	56.7	+ 11.2%	▲ 34.0%
18	徳島県	58.4	+ 12.3%	▲ 34.2%
19	茨城県	57.8	+ 14.5%	▲ 34.2%
20	群馬県	58.5	+ 18.7%	▲ 34.6%
21	鹿児島県	57.0	+ 10.5%	▲ 35.4%
22	広島県	57.7	+ 20.2%	▲ 35.5%
23	和歌山県	61.2	+ 2.2%	▲ 35.9%
24	福井県	63.2	+ 15.5%	▲ 36.0%
25	香川県	56.6	+ 19.9%	▲ 36.0%
26	佐賀県	52.8	+ 5.4%	▲ 37.0%
27	京都府	54.3	+ 31.5%	▲ 37.0%
28	愛媛県	56.7	+ 2.7%	▲ 37.1%
29	福岡県	59.0	+ 27.7%	▲ 37.2%
30	富山県	58.4	+ 13.2%	▲ 37.7%
31	栃木県	54.3	+ 13.6%	▲ 38.4%
32	滋賀県	55.2	+ 8.9%	▲ 38.6%
33	鳥取県	58.1	+ 16.0%	▲ 38.8%
34	岡山県	55.4	+ 16.1%	▲ 39.7%
35	島根県	52.9	+ 1.1%	▲ 40.1%
36	宮城県	56.3	+ 15.4%	▲ 41.0%
37	沖縄県	63.3	+ 111.0%	▲ 41.2%
38	静岡県	53.4	+ 18.7%	▲ 41.3%
39	三重県	50.5	+ 7.7%	▲ 41.9%
40	石川県	54.8	+ 21.2%	▲ 41.9%
41	愛知県	53.5	+ 28.9%	▲ 42.8%
42	兵庫県	52.1	+ 17.6%	▲ 44.1%
43	千葉県	47.9	+ 27.7%	▲ 47.1%
44	神奈川県	48.5	+ 33.6%	▲ 47.6%
45	大阪府	49.3	+ 38.1%	▲ 47.6%
46	埼玉県	47.4	+ 21.9%	▲ 48.2%
47	東京都	45.2	+ 52.7%	▲ 53.0%

注) 2022年8月14日までのデータによる推計値

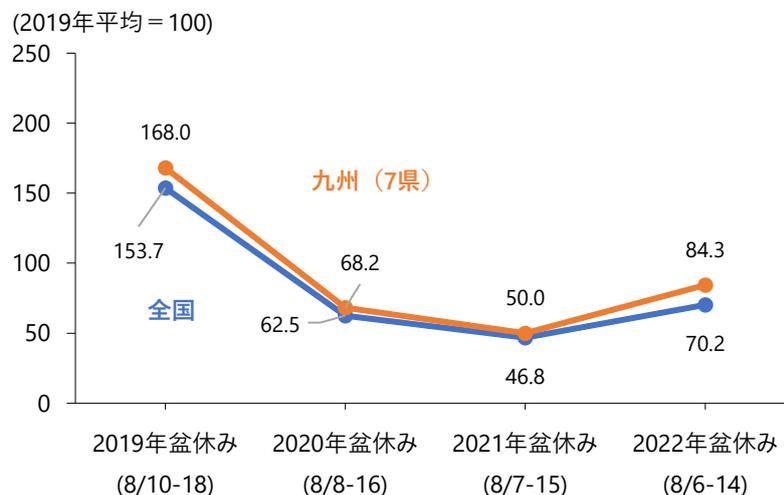
資料) 九経調 DATASALAD

4. 盆休み期間におけるおでかけ指数：GWほど戻らず

2022年盆休み期間（本稿では8/6～14の9日間）におけるおでかけ指数（来訪地側・原数値の期間平均値）は、全国70.2、九州（7県）84.3となった（図3）。全国は前年比+50.1%、九州は同+68.8%と、九州は前年に対する伸びが大きい。一方、コロナ禍前の2019年と比較すると九州は▲49.8%であり、2019年の日並びが良かったこともあるが、いまだ半分程度の戻りにとどまっている。ただし、全国（▲54.3%）よりも相対的に強い回復傾向となった。

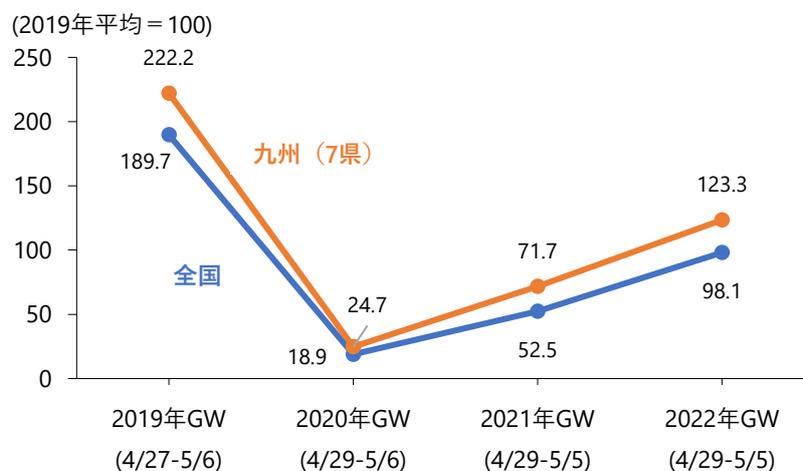
なお2022年は、5月のゴールデンウィークと同様、移動自粛が求められていない3年ぶりの盆休みとなった。GWにおける2019年比は全国▲48.3%、九州▲44.5%であったことと比べると、盆休み期間における人流の回復はGWに及んでいない。新型コロナの感染が小康状態にあったGWとは異なり、第7波のさなかにあったことが、今回の盆休みの人流回復を鈍らせたとみられる。

図3 全国・九州（7県）の各年盆休み期間におけるおでかけ指数の推移



注) 来訪地側・原数値の期間平均 資料) 九経調 DATASALAD

図4 参考：全国・九州（7県）の各年GW期間におけるおでかけ指数の推移



資料) 九州経済調査協会「2022年ゴールデンウィークのおでかけ指数」より抜粋

都道府県別にみると、前年比が大きいのは東京都(+99.0%)のほか、沖縄県(+88.6%)、長崎県(+75.7%)、福岡県(+75.6%)、熊本県(+75.5%)など九州・沖縄の各県である(表5)。2019年比のマイナス幅が小さい、すなわちコロナ禍前水準への回復傾向が強いのは高知県(▲44.6%)、宮崎県(▲45.7%)、北海道(▲45.9%)など地方圏である。九州・沖縄各県は2019年比でみてもマイナス幅が小さく、比較的回復傾向が強かった。

表5 地域別おでかけ指数(各年盆休み期間)

地域	2019年 (8/10-18)	2020年 (8/8-16)	2021年 (8/7-15)	2022年 (8/6-14)	2019年比		地域	2019年 (8/10-18)	2020年 (8/8-16)	2021年 (8/7-15)	2022年 (8/6-14)	2019年比	
					前年比	2019年比						前年比	2019年比
全国	153.7	62.5	46.8	70.2	+ 50.1%	▲ 54.3%	近畿	139.2	60.4	44.0	66.2	+ 50.4%	▲ 52.4%
北海道	227.4	128.2	99.9	123.0	+ 23.1%	▲ 45.9%	滋賀県	171.3	88.9	58.2	81.7	+ 40.3%	▲ 52.3%
東北	225.5	93.3	76.3	97.0	+ 27.1%	▲ 57.0%	京都府	142.1	64.1	46.6	71.3	+ 53.1%	▲ 49.8%
青森県	250.5	109.6	90.2	111.0	+ 23.1%	▲ 55.7%	大阪府	116.8	38.4	31.7	52.9	+ 67.1%	▲ 54.7%
岩手県	233.4	90.4	78.2	105.1	+ 34.3%	▲ 55.0%	兵庫県	155.8	71.8	50.5	72.5	+ 43.6%	▲ 53.4%
宮城県	187.2	75.5	63.7	83.0	+ 30.3%	▲ 55.6%	奈良県	159.6	92.0	61.4	84.2	+ 37.1%	▲ 47.3%
秋田県	254.4	97.3	93.7	99.7	+ 6.4%	▲ 60.8%	和歌山県	190.3	123.7	80.6	100.1	+ 24.3%	▲ 47.4%
山形県	254.2	103.5	83.8	97.4	+ 16.3%	▲ 61.7%	中国	190.6	87.2	58.2	91.7	+ 57.5%	▲ 51.9%
福島県	223.2	100.9	68.9	98.7	+ 43.2%	▲ 55.8%	鳥取県	250.3	111.0	67.2	102.2	+ 52.1%	▲ 59.2%
北関東	195.7	92.0	58.1	82.9	+ 42.6%	▲ 57.7%	島根県	203.9	95.2	61.5	93.3	+ 51.7%	▲ 54.2%
茨城県	183.9	83.6	51.8	78.4	+ 51.3%	▲ 57.4%	岡山県	179.8	79.0	56.8	84.8	+ 49.4%	▲ 52.8%
栃木県	201.4	93.7	60.9	82.4	+ 35.3%	▲ 59.1%	広島県	173.1	79.6	51.6	88.3	+ 71.0%	▲ 49.0%
群馬県	205.8	101.4	63.6	89.1	+ 40.2%	▲ 56.7%	山口県	206.9	100.3	69.1	105.1	+ 52.0%	▲ 49.2%
南関東	111.0	36.2	27.4	48.2	+ 76.3%	▲ 56.6%	四国	199.9	98.7	67.7	101.4	+ 49.8%	▲ 49.3%
埼玉県	151.5	57.9	42.6	60.4	+ 41.6%	▲ 60.1%	徳島県	211.3	89.4	68.3	102.9	+ 50.7%	▲ 51.3%
千葉県	159.4	68.5	42.5	64.4	+ 51.5%	▲ 59.6%	香川県	177.6	73.5	56.6	87.6	+ 54.8%	▲ 50.6%
東京都	93.7	25.5	21.5	42.8	+ 99.0%	▲ 54.3%	愛媛県	200.8	100.0	64.9	99.5	+ 53.4%	▲ 50.4%
神奈川県	134.8	50.6	35.1	55.3	+ 57.6%	▲ 59.0%	高知県	215.7	135.3	84.8	119.4	+ 40.8%	▲ 44.6%
甲信越	250.9	108.2	80.9	109.1	+ 34.9%	▲ 56.5%	九州	168.0	68.2	50.0	84.3	+ 68.8%	▲ 49.8%
新潟県	229.2	96.7	80.1	98.0	+ 22.3%	▲ 57.3%	福岡県	146.0	54.3	43.3	76.1	+ 75.6%	▲ 47.9%
山梨県	251.6	117.4	75.8	109.9	+ 45.0%	▲ 56.3%	佐賀県	173.7	70.2	48.1	76.7	+ 59.5%	▲ 55.9%
長野県	270.2	113.6	84.3	118.8	+ 40.8%	▲ 56.0%	長崎県	209.2	72.0	52.0	91.3	+ 75.7%	▲ 56.3%
東海	160.4	65.8	54.2	70.9	+ 30.8%	▲ 55.8%	熊本県	188.0	94.7	54.8	96.2	+ 75.5%	▲ 48.8%
岐阜県	215.5	94.9	75.8	96.9	+ 27.9%	▲ 55.0%	大分県	196.6	93.9	64.8	100.4	+ 55.0%	▲ 49.0%
静岡県	188.5	81.0	57.6	76.0	+ 31.9%	▲ 59.7%	宮崎県	178.9	62.7	58.4	97.1	+ 66.4%	▲ 45.7%
愛知県	127.4	45.9	44.3	60.7	+ 37.1%	▲ 52.3%	鹿児島県	176.0	73.0	57.1	86.5	+ 51.4%	▲ 50.9%
三重県	161.2	74.0	62.6	71.9	+ 14.9%	▲ 55.4%	沖縄	135.3	36.4	36.8	69.4	+ 88.6%	▲ 48.7%
北陸	215.7	86.2	60.1	86.0	+ 43.2%	▲ 60.1%							
富山県	213.6	79.6	65.5	95.3	+ 45.3%	▲ 55.4%							
石川県	202.7	80.4	53.5	79.5	+ 48.4%	▲ 60.8%							
福井県	240.4	102.5	66.2	88.7	+ 33.8%	▲ 63.1%							

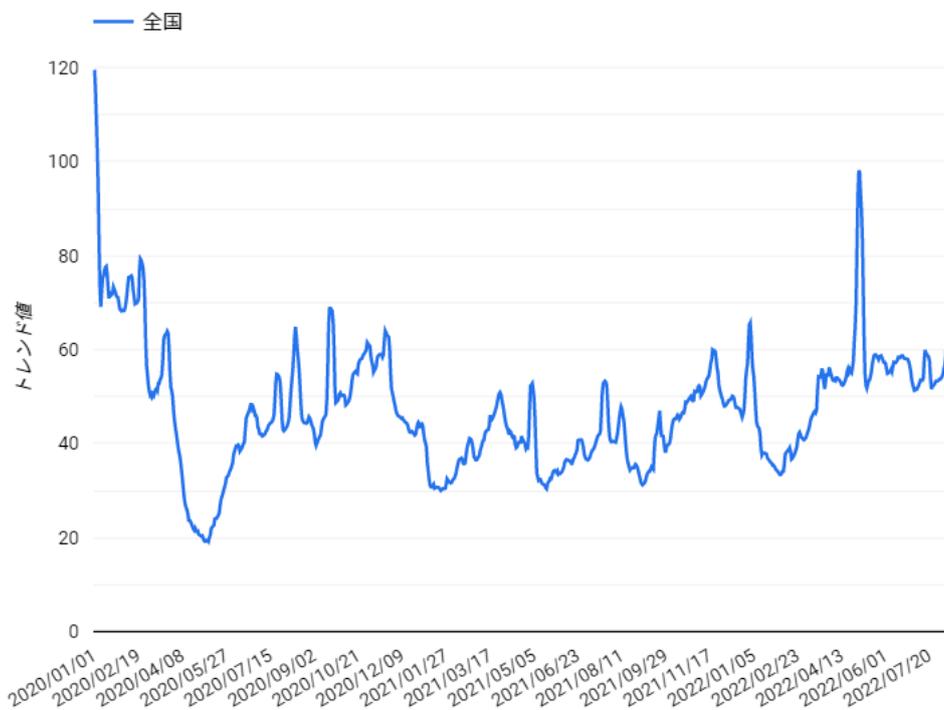
注) 来訪地側・原数値の期間平均
資料) 九経調 DATASALAD

注) 来訪地側・原数値の期間平均
資料) 九経調 DATASALAD

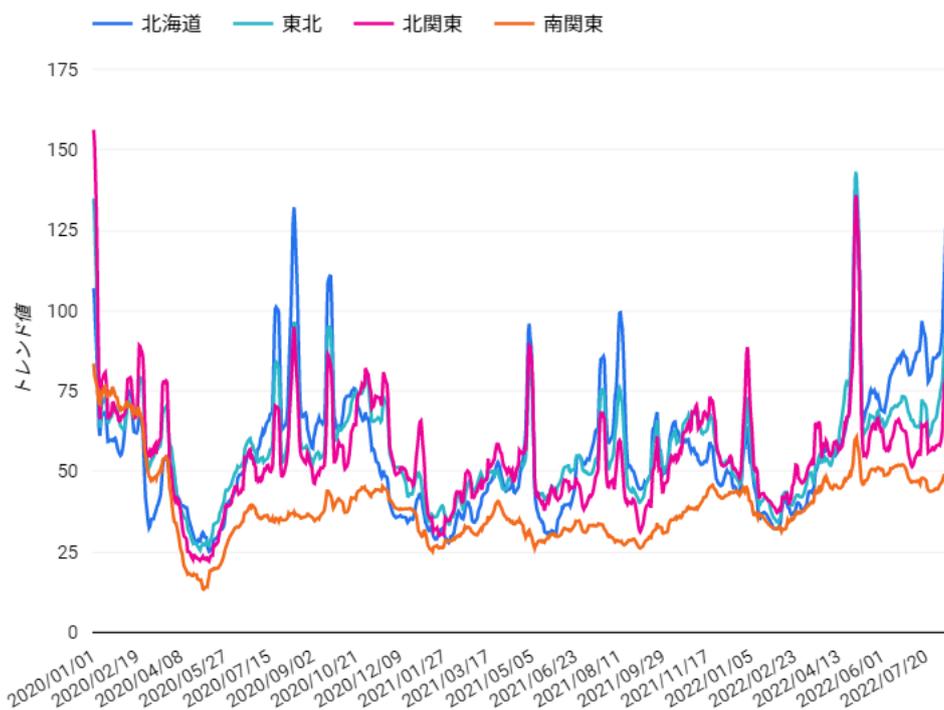
5. 日次推移

図5 地域ブロック別の日次推移（トレンド値）

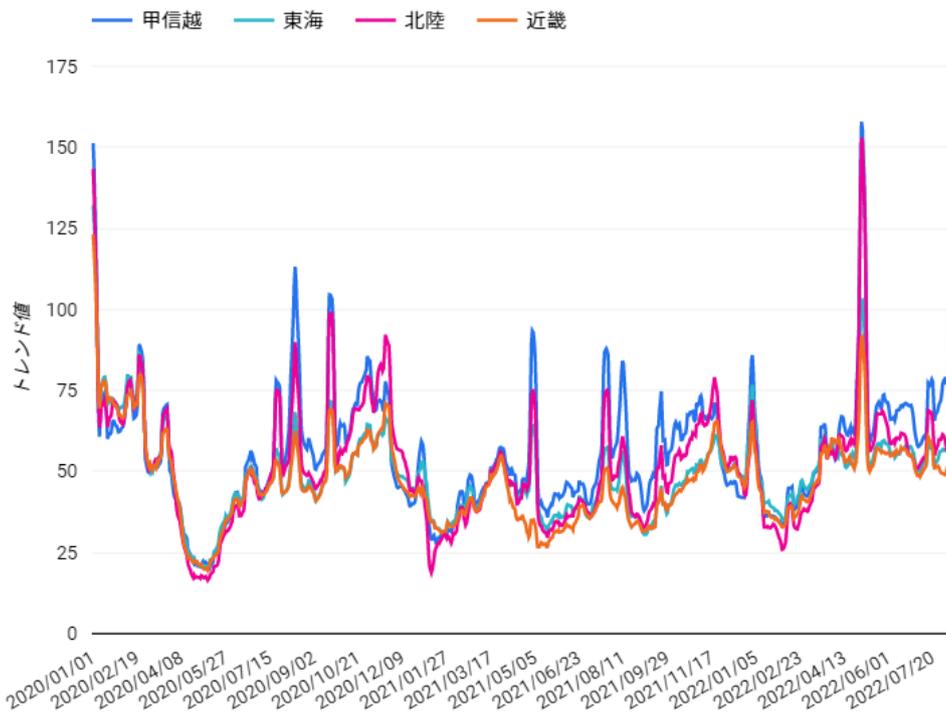
<全国>



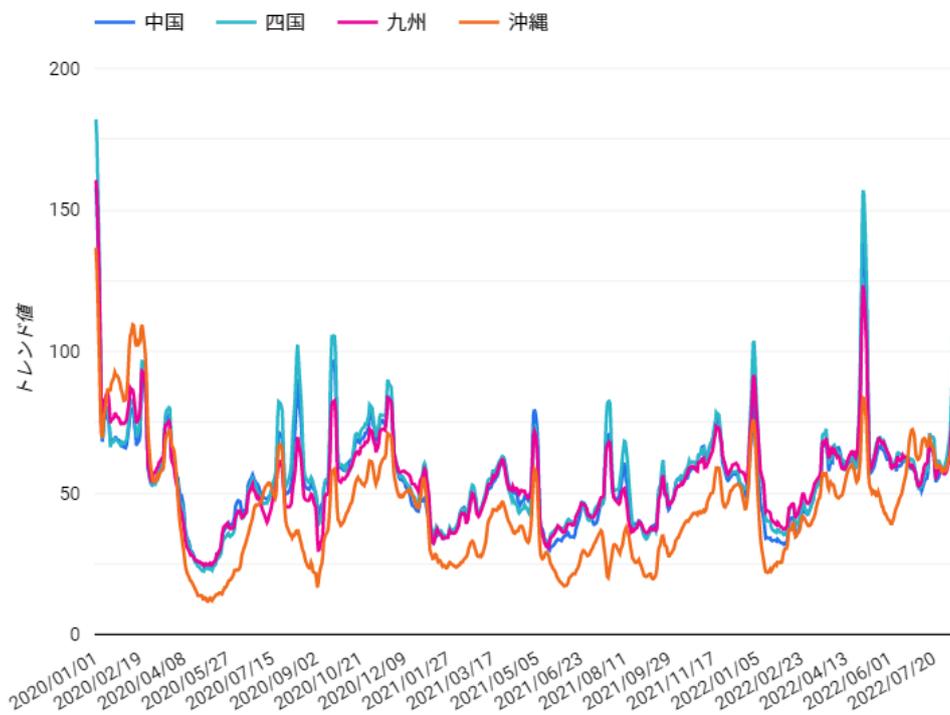
<北海道～南関東>



< 甲信越～近畿 >



< 中国～沖縄 >



注) 2022年8月14日までのデータによる推計値 資料) 九経調 DATASALAD

小柳 真二 (事業開発部 主任研究員)

E-mail: skoyanagi@kerc.or.jp

参考：おでかけ指数の定義・算出方法

おでかけ指数は、市区町村別の人流をコロナ禍前の 2019 年を基準に指数化したものである。これを、来訪地側（着地側。ある市区町村への来訪者数）と、発地側（ある市区町村（居住地域とみなされる市区町村）からの出発者数）の双方について算出している。具体的には、以下のようなルールである（試作版のため、今後変更の可能性がある）。

①対象期間、公表時期

来訪地側・発地側とも 2019 年 1 月以降である。おでかけウォッチャー（以下、OW）と同じく、毎週月～日曜日のデータを翌木曜日に公表する。

②モニタリングスポット、市区町村ごとのユニーク化

OW では、各市区町村につき最大 20 地点をモニタリングスポットとして設定し、それらの地点のいずれかを訪れた人数を市区町村別来訪者数として算出している（複数地点を訪れた場合も 1 人とカウント）。来訪地側（着地側）のおでかけ指数で用いるのは、この市区町村別来訪者数である。また発地側は同じデータを発地側で集計した人数を基としている。

OW では各市区町村（基礎自治体）がモニタリングスポットを任意の地点に変更できるサービスとしているが、おでかけ指数ではデータの連続性を保つ観点から、OW のリリース時点（2021 年 10 月）に九経調がデフォルトとして設定したスポット（※）を対象としている。

※各市区町村において来訪者数（2019 年のゴールデンウィークにおける 250m メッシュ別の来訪者数）が上位 20 のメッシュを選定した。ただし、選定の際には、より上位のメッシュと隣接（メッシュ中心間の距離が 500m 以内）するメッシュは除外した。

③人流計測の条件

すべての人流が来訪および出発としてカウントされるのではなく、居住地域とみなされる場所から 20km 以上離れた場所で位置情報が一定時間検出された場合、かつそれが通勤・通学のような日常的な訪問地ではない場合という条件がある。

④指数算出地域

②の通り市区町村別にユニーク化した人数を基礎に指数を算出しているため、厳密には市区町村別の指数を参照いただきたい。ただ、より上位スケールの地域間比較等のニーズもあるため、市区町村別の人数を足し上げて都道府県や地域ブロック別の人数を算出し、それをもとにこれらの地域別の指数も公表している。

⑤算出方法

各地域（市区町村や都道府県等）について、2019 年の 1 日当たり平均人数を 100 として、各日の人数を指数化したものを原数値とする。そのうえで、人流には曜日による変動が大きい特徴があり、原数値のままではトレンドをとらえにくいことから、原数値を 7 日間周期のデータとみなし、トレンド成分（中長期的変動）、曜日成分（曜日による変動）、イベント成分（天候やイベント（催事）等による短期的変動。他の 2 つの残差）の 3 つに要因分解を行うことで、トレンド値および曜日調整値を得る。各数値の計算方法・等式は以下の通りである。

原数値 = (各日人数 ÷ 2019 年の 1 日当たり平均人数) × 100 日次（原数値）

トレンド値 = トレンド成分 = 原数値 - 曜日成分 - イベント成分

曜日調整値 = 原数値 - 曜日成分

⑥一部地域の算出除外

位置情報ビッグデータは個人特定がなされないように抽象化処理がなされたものであり、その過程で閾値未満の人流は秘匿されるため、来訪者数・出発者数のカウントから除外される。したがって、来訪者数・出発者数が毎日計測されていない一部地域（離島等）が存在する。このような地域について⑤のような手法による指数化は、ブレが大きくなるなど必ずしも適切でないため、2019 年において来訪者数・出発者数が計測される日が 180 日未満の自治体については指数を算出しない。